

天国への手紙

RN 古今亭しんじ

お婆ちゃんへ

お葬式の時には涙は流れなかったんですが、日が経つにつれて哀しみがこみ上げてきています。

本当に空気のように、そこに存在している。当たり前、いつも傍にいてくれて微笑んでくれている存在。

当たり前が、当たり前じゃなかったんですね。

今、僕がお婆ちゃんに伝えたい事は、感謝と尊敬です。

小さい頃から、いつも完全肯定で、

シンちゃんは凄い、シンちゃんは凄いと僕の可能性を

一番に信じていてくれました。

自分が親に怒られた時でも、優しく包んでくれました。

どんなに心強かったことか。まるで大きな傘の下で

ぬくぬく育ったようなものです。

お母さんからも聞いたことがあります。お

婆ちゃんは、戦後の動乱期を女手一つで料理屋などを営み

5人の子供達を育てたと。強さ厳しさはもちろんありましたが

深い深い愛情で、家族、従業員などからも信頼が厚かったと。

一度決めたことは必ずやり遂げる。約束は絶対に守る。

強い精神力がなければ完遂できないことばかりです。

そんな血を受け継いでいることにも感謝します。

僕も、お婆ちゃんの教えを胸に、これからも精進してまいります。

仕事は一生懸命、真剣に。集中集中ですね。

僕もおじいちゃんになる頃には、丸い人間に

なれてたらいいなあと思います。

本当にありがとうございます。

これかも、この空の上からどうか僕を見守って下さい。

男として、矜持をもって未来をつくります。